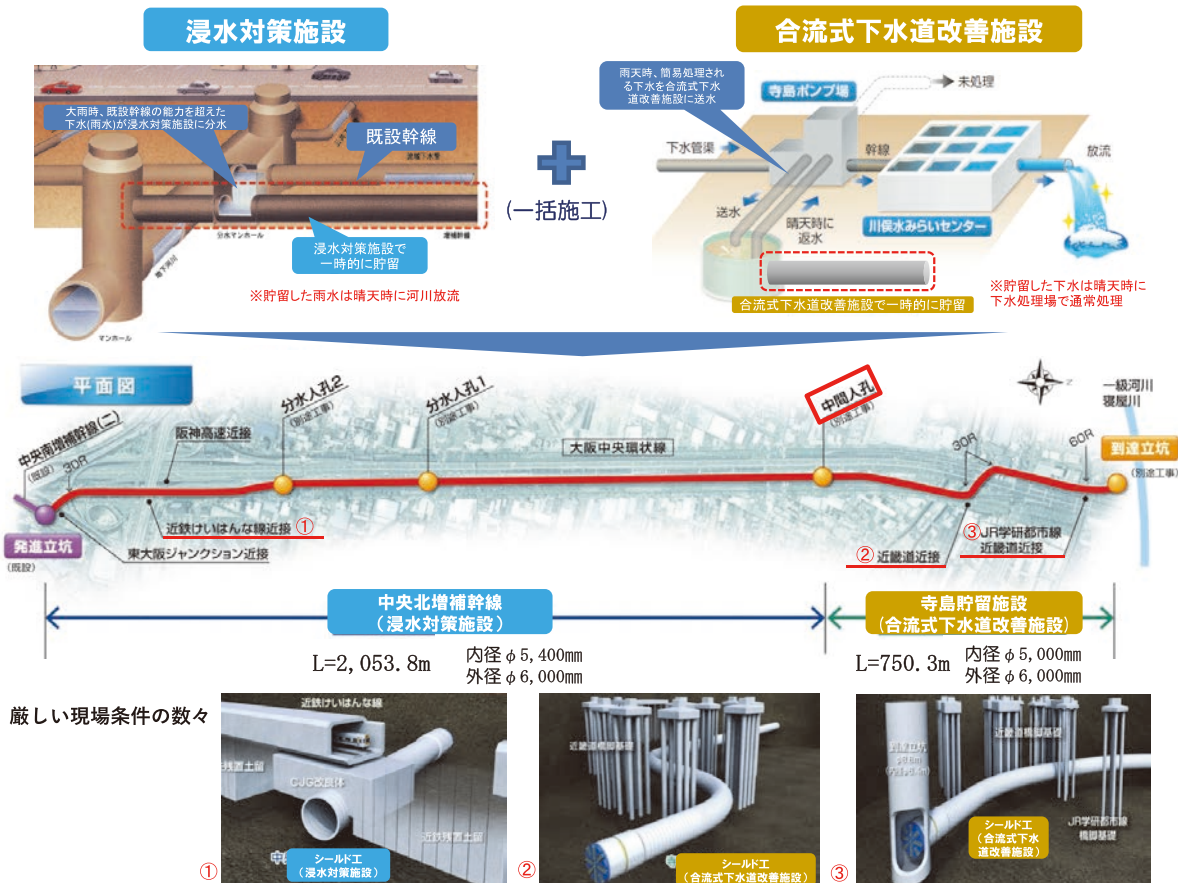


イノベーション部門

浸水対策施設と合流式下水道改善施設の シールド工事による一括施工

大阪府

大雨から都市を守る浸水対策施設と大阪湾や河川の水質を改善する合流式下水道改善施設を
1本のシールド工事により構築することで**大幅なコスト削減を実現！**



PRポイント!

- 従来は別事業として構築していた施設ですが、今回は、1本のシールド工事の中間部で仕切り壁を設けて独立させ、それぞれの断面を個々に設計することにより、事業目的を満足する施設を構築しました。
- 一括施工による立坑の省略、シールド掘進機本体及び設備の一括化により、従前の工法と比較して**約13% (14億円)**もの経費を削減しました。

取組の効果!

- 中央北増補幹線の整備により、地下河川と合わせて約100万㎡の雨水を貯留することが可能となり、寝屋川流域で新たに約1,200haの区域、約10.8万人の居住エリアで浸水被害が軽減されます。
- 寺島貯留施設の整備により、14,700㎡の下水を貯留することが可能となり、寝屋川流域川俣処理区で計画している汚濁負荷削減量145t/年の約2割(約33t/年)を削減することが可能です。

Key Person



現 北部流域下水道事務所
課長補佐 原田聖司

今回計画路線には近接する地下軌道をはじめ、多くの地下埋設物の他、高速道路、鉄道の橋脚基礎等の支障物が多く、線形計画を立案したものの、それらの実現に向けた施工管理に苦労しました。

また、工事中は地域住民等を対象とした現場見学会の実施や美観にこだわる作業環境づくりに取り組むことで、職員の安全に対する意識の向上と住民へのイメージアップを両立させることが出来ました。